

校長	副校長	教頭	事務長	学習支援	渉外広報	キャリア	生活支援	生徒会	管理運営

令和 7 年 3 月 12 日
大和西高等学校長

令和 6 年度第 3 回大和西高等学校運営協議会議事録

1 日 時 令和 7 年 3 月 11 日（火）

2 次 第 別紙

3 出席者（敬称略）

※出席状況確認表あり

三留 未来 伊澤 重昭 西澤 律雄 大谷 幸司
学校側；校長 副校長 教頭 事務長 各グループリーダー
生徒会グループ横田教諭（代理）

計 14 名

4 学校評価部会

・ 令和 6 年度学校評価報告書の校内評価の説明 (副校長)

・ 質疑応答

修学旅行について、物価高騰の折に、保護者の負担も増加していると思われる。
何か工夫している点はあるか。

→姉妹校訪問は、観光型の修学旅行プログラムに比べると比較的安価で済む。

部活動について、最近は保護者の価値観も多様化している。中学校では地域移行
へ向けて進んでいる。高校での対応はいかがか。

→高校でも同様の難しさを抱えている。種目によって異なるが、クラブチームの存
在によって、かつてと大きく変わってきている。高校の部活動に加入せずにクラブ
チームでの活動を続ける者もいる。それぞれに工夫して分断を生じさせないよう
に工夫はしている。

地域の防災活動はどのようなものを行っているか。

→大和市は広域避難場所として、高校が指定されている。市の防災倉庫もあり、またいざという場合の鍵の保管を大和市で行っており、高校側の者がいなくても施設を使うことは可能となっている。また、高校側から地域の防災訓練にも参加している。

ストレスの原因とおもわれるものは、どのようなものか。何時ごろまで高校の教員は仕事をしているのか。

→これまで取り組んできて、だいぶ改善されている。かつてはもっとひどかった。まず環境を整備することから始めた。部屋の片づけから始めて、現在の職員室はコミュニケーションをとりやすい場所となり、職員の明るい声も絶えない。保護者対応についても、苦慮する場面も全くないわけではないが、概ね協力的である。現在機械警備を行っている関係で夜 19 時 30 分以降は職員室にいることはできなくなっている。

いわゆるヒヤリハットのような場面はないか。

→自転車による事故は多い。学校周辺は狭い道が多く、平らな道路が続くため自転車通学の生徒も多い。一方通行の道路も多いが、一般の方も逆走している場面をよく見かける。幸い命に係わる大事故にはいたっていないが、今年度も接触して救急搬送された生徒もいる。事故があった場合は必ず警察に届けを出すように指導している。生徒へは Google クラスルームを活用しての情報の周知をし、指導に活かしている。職員間でも情報の共有を大事にしている。月一回の立ち番も行っている。

SNS は便利ではあるが、小学校や中学校でも対応に苦慮している。何かお知恵があれば伺いたい。

→残念ながら、即効性のある特効薬のようなものはない。モラルやマナーの問題というとらえ方だけでは、対応に限界がある。研修や広報活動など企業側の努力が必要だろう。日本だけの問題ではないので、世界的な視野で解決方法を模索していきたい。技術的な対応や法整備などの点から考えていけないといけない。